

講義科目 : 居住福祉論	単位数 : 2
担当 : 木下 誠一	学習形態 : 選択科目 建築士指定科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

高齢社会をふまえ、住み慣れた環境で安心して人々が生活を送れるよう、福祉の観点から居住環境を捉える。高齢者等の行動特性を把握し、在宅ケアを念頭においたバリアフリーの住宅設計・改造に関する計画手法を身に着けることを目標とする。

授業計画

- 第1回 ガイダンス、福祉住環境整備の必要性
- 第2回 バリアフリーとユニバーサルデザイン
- 第3回 福祉住環境に関連する制度・資格
- 第4回 高齢者等の心身・行動特性 (1) 疾病
- 第5回 高齢者等の心身・行動特性 (2) 障がい
- 第6回 福祉住環境の共通整備方策
- 第7回 場所別の具体的な整備方策 (1) アプローチ・玄関・廊下・階段
- 第8回 場所別の具体的な整備方策 (2) トイレ・浴室・洗面所
- 第9回 場所別の具体的な整備方策 (3) キッチン・寝室等
- 第10回 福祉用具
- 第11回 演習(1) 演習問題
- 第12回 演習(2) 住宅のリフォーム提案①：杖歩行
- 第13回 演習(3) 住宅のリフォーム提案②：車椅子対応
- 第14回 発表
- 第15回 まとめと確認

教材・テキスト・参考文献等

随時、資料を配付する。

成績評価方法

- ・出席を毎回取る。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。
- ・講義で適宜実施する小テスト(20%)、演習(80%)の成果により評価する。

実務経験

一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。